

## 2025 年度 HOPS 地方議員・公務員向けサマースクール開催概要

北海道大学公共政策大学院（HOPS）では、2025 年度には、8 月 20 日・21 日に「地方議員・公務員向けサマースクール」を開講します。本サマースクールは、本大学院の社会貢献活動の一環として、地方議会・行政の更なる活性化・充実に資するよう、地方議員・公務員の方々に自己啓発・研鑽の機会を提供するため、2008 年度以降、継続的に開催してきたものです。地域の振興に志を抱く多くの皆様の積極的なご参加をお待ちします。

### メインテーマ：北海道の豊かな自然と資源を生かした観光まちづくり

観光立国を目指す政府の施策の展開に始まったインバウンド観光客の増大は、新型コロナのパンデミックの影響を跳ね返しつつ堅調な回復基調にあり、一部では観光公害と言われるような状況も出現していますが、その一方では、人口減少が続く地方の現場にまでその恩恵は及んでいない状況も続いていると考えられます。

北海道は、国内外の観光客が求める「自然」「食」「温泉」などの魅力にあふれていますが、それを生かし切れていない市町村も多く、地方政治・地方行政の対応が今後の地域の「観光まちづくり」、ひいては地方創生の成否を分けると言っても過言ではありません。

このため、今年度のサマースクールのテーマを「北海道の豊かな自然と資源を生かした観光まちづくり」とし、北海道の豊かな自然環境と豊かな農林水産業や温泉等の資源を生かした、観光まちづくりによる地方創生を考える場としたいと考えています。

そこで、参加者の住む地域の資源を念頭に、地域発の観光まちづくりのために必要な着地型の旅行コンテンツづくりやそのための手法や組織体制等を中心に、基本的な考え方や具体的な事例に関する講義やグループディスカッションを通じて学びます。

※「着地型の旅行コンテンツ」：観光地側の地域発＝着地型、旅行コンテンツ＝単なる観光資源ではなく、それを観光に使えるように工夫をくわえ磨き上げたもの。

プログラム

2025年8月20日(水) 13:30~17:30 【2日コース/1日コース】

<p>趣旨説明 13:40~14:00 (20分)</p>	<p>「北海道の豊かな自然と資源を生かした観光まちづくり」 北海道大学公共政策大学院教授 中山 隆治 環境省の職員として、国立公園の計画・管理・整備等に本省・現場の双方で長年従事。小笠原諸島世界自然遺産登録や各地の国立公園のインバウンド誘致等を担当。内閣官房・内閣参事官(地方創生担当)や東北・中部地方環境事務所長等を歴任。総長補佐を兼務。</p>
<p>講演① 14:00~15:00 (60分)</p>	<p>「地域資源の観光活用 ~魅力づくりの事例集~」 静岡県立大学 経営情報学部 / 大学院ツーリズム研究センター講師 寺崎 竜雄 氏 (公財)日本交通公社(JTBF) 研究員として、全国各地の観光地や自治体に出向き、長年調査研究と地域支援を行ってきた。JTBF では観光地域研究部長等や常務理事を歴任。専門分野は、観光政策、地域資源管理、エコツーリズムで、現在は地域資源の活用と保全のしくみ、エコツーリズムの普及と定着方策、持続可能な観光のためのオーバーツーリズム対策等を研究している。博士(農学)</p>
<p>講演② 15:10~16:10 (60分)</p>	<p>「にっぽんの田舎を元気にする！」 株式会社 Local Governance 代表取締役 寺本 英仁 氏 元・島根県邑南町役場商工観光課長等 邑南町においてA級グルメ構想や耕すシェフ制度等を手掛け、町を地方創生の優等生に仕立て上げた「スーパー公務員」として知られ、NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』にも取り上げられた。総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師、北海道鹿部町地域力創造アドバイザー(2022年4月~2024年3月)、東亜大学医療学部客員教授等に就任。著書に『ビレッジプライド「0円起業」の町をつくった公務員の物語』『A級グルメが日本を元気にする』等がある。</p>
<p>講演③ 16:20~17:20 (60分)</p>	<p>「エコツーリズムと宝探しによる観光まちづくり」 文教大学 国際学部国際観光学科教授・大学院国際学研究科長 海津 ゆりえ 氏 自然や生活文化、人などを「宝」として守り、継承し、観光によって外の力を使いながら地域の持続ある発展を実現する「エコツーリズム」を、沖縄県西表島や南大東島、東京都八丈町や檜原村、鹿児島県奄美群島、福島県裏磐梯などを舞台に研究・実現してきた。特に、地域の「宝探し」を住民参加の取組で実践することを重視している。内閣府地域活性化伝道師。博士(農学)。</p>

閉講 17:30

閉講後、2日コース参加者を対象とした懇親会を予定しています。(希望者のみ、会費制)

2025年8月21日(木) 10:00~16:00 【2日コースのみ・講演④のみ1日コース履修生も聴講可】

講演④ 10:05~11:05 (60分)	「信州いいやま観光局と着地型コンテンツ開発」 北海道大学観光学高等研究センター准教授 小泉 大輔 氏 まちづくり調査会社を経て、長野県飯山市観光協会での専任職員として法人化と着地型旅行業の立ち上げ、歩く旅による地域ブランド構築、広域拠点を見据えた観光局設立等の業務を手がける。東日本大震災直後に福島県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科に転じ復興を担う観光人材育成に従事。2023年10月に北海道大学に着任し、大学院国際広報メディア・観光学院 准教授を兼務。
グループ ディスカッション① 11:10~12:00	各自のレポート（自分の地域の宝さがし）に関する討議 ※後述のレポートをご準備ください。
グループ ディスカッション② 13:00~14:30	着地型旅行コンテンツの検討と観光まちづくり、それに必要な市町村の役割についての討議 ※本大学院の専任教員等が進行をサポートします。
まとめ 14:40~15:40	各グループによる発表 講師による講評

閉講 16:00

#### 開催要領

開催期間	◆ 2日コース：2025年8月20日(水)・21日(木) ◆ 1日コース：2025年8月20日(水)（ただし21日の講義④の受講が可能）
開催時間	◆ 8月20日(水)：13:30~17:30 ◆ 8月21日(木)：10:00~16:00
開催場所	◆ 2日コース：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 ※ 2日コースは対面で実施しますが、8月20日(水)はオンライン受講も可能です。 ◆ 1日コース：オンライン ※ 1日コースは、オンラインのみで実施します。
受講対象	◆ 地方議員（立候補予定者を含む。） ◆ 地方公務員（出向、休職等で地方公共団体以外の機関（観光協会、大学等）に所属する者を含む。） ◆ 観光協会、観光DMO・DMC等の役職員も、受講申込が可能です。 この場合における受講料は、地方公務員と同額です。
受講定員	◆ 2日コース：最大40名 ◆ 1日コース：100名程度

受講料	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地方議員 2日コース：8,000円 1日コース：6,000円</li> <li>◆ 地方公務員 2日コース：6,000円 1日コース：4,000円</li> <li>※ 受講申込後に送付する請求書に基づき8月15日(金)までにお支払いください。</li> </ul>
受講申込締切	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2日コース 2025年7月4日(金)</li> <li>◆ 1日コース 2025年7月11日(金)</li> </ul>
受講申込方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ WEBサイトで詳細をご確認の上、WEBサイトに掲載されるWEBフォームでお申込みください。 <a href="https://www.hops.hokudai.ac.jp/social/summerschool2025/">https://www.hops.hokudai.ac.jp/social/summerschool2025/</a></li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※ お申込みに当たっては、WEBサイトに掲載される「HOPS 地方議員・公務員向けサマースクール個人情報保護方針」及び「HOPS 地方議員・公務員向けサマースクール注意・免責事項」にご同意を頂く必要があります。あらかじめご一読ください。</p> <p>※ WEBフォームでお申込みすることができない場合には、サマースクール事務局にお問い合わせください。</p>
受講申込上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆受講申込後、2日コースは7月11日(金)、1日コースは7月18日(金)をめぐりに、受講の可否をメールでご連絡します。それを過ぎてもメールが届かない場合には、必ずサマースクール事務局にお問い合わせください。</li> <li>◆2日コースでは、グループディスカッションを実施するため、受講申込が受講定員を大幅に超える場合には、WEBフォームに記入された受講目的や所属、属性等も勘案し、受講者を決定します。</li> <li>◆2日コースお申込みの方は、WEBフォームに「受講目的」を400字程度でご記入ください。</li> <li>◆2日コースお申込みの方も、2日コースを受講することができない場合には、1日コースを受講することができます。</li> <li>◆2日コースでは、受講者相互間のネットワークづくりに資するよう、受講者の氏名、所属及びメールアドレスを記載した名簿を配布します。あらかじめご了承ください。</li> <li>◆講演及びグループディスカッションの資料については、当日に先立ち、オンラインで電子媒体を配布します。紙媒体を必要とする場合には、各自で印刷してください。</li> </ul>

レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2日コースでは、グループディスカッションを実施するため、あらかじめグループを編成する必要があります。</li> <li>◆ 2日コースの受講者は、各自、グループディスカッションで発表するための簡潔なレポートを必ず期限内にメールでご提出ください。</li> </ul>
	内容
	<p>自らの市町村において、無名ではあるが地域の宝、眠れる観光資源として誇れるものをいくつか、箇所ごとにその名称、概略位置、概要、関係者などをまとめる。写真・図表・地図等があるとなお良い。</p> <p>冒頭に市町村名と記載者氏名を記入すること。</p> <p>※地域の宝のイメージ：景勝地、展望地、巨樹古木、花、古道、文化財、寺社、石像、墓、農林水産業の遺産、古い町並み、お店、伝統的食材・メニュー、祭り、伝統芸能…等</p>
	分量
	A4 版 1～3 枚程度
	提出期限
	7 月 31 日(木)
	提出方法
メール： hops.mizobuchi@gmail.com	
お問い合わせ先	<p>サマースクール事務局：グラフィイト（担当：溝渕）</p> <p>電話：090-9759-9611 メール：hops.mizobuchi@gmail.com</p>

【主催】北海道大学公共政策大学院

【後援】北海道市長会・北海道町村会・北海道市議会議長会・北海道町村議会議長会

【協力】北海道

※ プログラム等については、諸事情により、変更が有り得ます。